

令和5年度 村岡中学校だより7

令和5年10月6日発行

ふるさとを愛し、自他を大切にして、志高く未来を切り拓く生徒の育成

歴史的猛暑もようやく収まり、朝夕がめっきり涼しくなり、秋の気配を感じるようになりました。(もう10月に入っているのに、当然かもしれません。)

今年から、衣替えについて学校からお知らせすることを止めています。それぞれのご家庭で気候を見ていただき、体調等を考慮されて冬服への移行を判断してください。



さて、2学期始めに開催しました「体育祭」では、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様、ご来賓の皆様にお越しいただき、本校の生徒の頑張りを見ていただけたことと思います。あれからすでに1か月が経過し、本日は、校内マラソン大会を予定していましたが、雨天のため中止といたしました。ご協力を予定していただきました保護者の皆様、マラソン大会を楽しみにしていた生徒、保護者の皆様、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

<全国学力学習状況調査から>

4月に実施した調査の結果が、7月末に公表されました。校内において結果を分析し、以下のようにまとめましたので、お知らせいたします。



【国語】

- 全体として、全国や県の平均を上回っている。
- 学習指導要領の内容としては「思考力・判断力・表現力等」よりも「知識及び技能」の正答率が高い。
- 記述式問題の正答率は全国や県を上回っており、無回答も少ない。
- 「知識及び技能」の「語句の意味を問う問題」や「古語に関する問題」についてはおおむね良好であるが、「漢字を正しく書く問題」は正答率が低い。
- 「話すこと・聞くこと」の「効果的な質問の工夫とその意図」を選択する問題や「読むこと」の「表現の効果について根拠を明確にして」記述する問題の正答率が全国や県よりも低い。
- ・「正しく漢字を書く問題」の正答率が低いため、授業の中で漢字の読み書き等の基礎基本の定着を図る取組を継続する。また、文脈に応じて漢字を使い分けるなど、漢字の使い方について考える時間を増やす。
- ・話し手と聞き手の役割を意識した話し合い活動やスピーチを取り入れたり、条件作文を書いて推敲する時間を取り入れたりして、よりよい表現を工夫する機会を増やす。
- ・読書活動の充実と新聞記事等の活用を図り、文章の構成や作者の思い、登場人物の心情等内容を読み取る活動を習慣化していく。

【数学】

- 全体として、全国や県の平均と同程度である。
- 学習指導要領の4つの領域別にみると、「データの活用」は全国や県の平均を上回っており、「関数」「図形」については同程度、「数と式」では下回っている。
- 問題形式別では、「短答式」の正答率は国や県の平均を上回っており、「記述式」は同程度、「選択式」では下回っている。
- 無解答率は、全国や県よりも低く、何らかの答えを導こうとしている。
- ・「数と式」分野では、問題解決の過程や説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れていく。
- ・「図形」分野では、証明を振り返り、用いた前提や根拠を整理し、図形の性質を論理的に考察し表現する活動を取り入れる。

- ・「関数」分野では、日常生活と関連付けながら、関数の意味について考える場面を設ける。
- ・粘り強く問題に取り組めるよう、授業中に考える時間をしっかり確保する。

【英語】

- 全体として、全国や県の平均を上回っている。
- 調査された「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の3つの領域で全国や県の平均を上回っている。「聞くこと」の領域は同程度である。
- 「記述式」の問題については、全国や県の平均を上回っている。
- 無回答の割合は、全国や県の平均よりも低い。
- 「聞くこと」の問題では、設問による正答率にかなりの差がある。
- 「読むこと」については、日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり、短い文章の概要を捉えたりする問題の正答率が全国や県の平均よりも低い。
- 「話すこと」について、疑問文を用いて自ら考えて質問をする問題において、全国の平均を下回っている。
- ・授業の導入でALTを活用したり、洋楽や洋画など視聴したりして、日常的に生きた英語を聞き、内容を理解するような活動を取り入れ、聞く力の向上を図る。
- ・自分が発音できる単語しか耳には入ってこない。授業での単語練習にさらに力を入れ、ある程度の速さで正確に発音できるように練習方法などを工夫する。
- ・ペアワークやグループワーク等を積極的に活用し、「自分の意見を伝える力」や「相手の意見を聞いて理解する力」「質問をする力」などを伸ばす。



【生徒質問紙】

- 「規範意識」「自己有用感」「生活習慣・学習習慣」については全国や県と比較して高い。
- 朝食を毎日食べる生徒の割合が全国や県と比較して高い。
- 将来の夢や目標を持っている生徒の割合が年々増加している。
- 新聞を読む生徒の割合は全国や県と比較して高いが、「ほとんど」あるいは「全く」読まない生徒が半数いる。
- 地域行事へ参加している生徒、および、地域へ貢献したいと考える生徒、また、自分の考えがうまく伝わるよう工夫する生徒や、話し合いで自分の考えを深めたり広げたりする生徒の割合が、全国や県と比較して高い。
- 学校で、コンピュータなどのICT機器を活用する割合は全国や県と比較して低い。
- ・タブレットの朝学習での利用、家庭への持ち帰り等を実施して、活用促進を図る。
- ・スマホ、タブレット等で、デジタルコンテンツを閲覧する回数が増えるほど、新聞を読まなくなっているように感じる。授業や学活で新聞を活用する方策を考える。
- ・「生活習慣・学習習慣」が確立しており、「規範意識」や「自己有用感」も高い。これらが、各教科の学習に好影響をもたらしていると考えられる。今後も、一人一人を大切にした学級・学校運営を進め、さらに、家庭・保護者とのいっそうの連携を深めていく。
- ・学校全体で課題を共有し、すべての教員が、学校教育活動全体をとおして取り組みを進める。また、取組状況を確認しながら、必要に応じて見直し改善を図る。

<但馬中学校陸上競技大会> 9月20日(水) 8位までの入賞者

共通女子 800m 第6位 西井歩希 2:43.60

3年女子走幅跳 第3位 坂本侑莉巴 4m32

1・2年女子走幅跳 第1位 阿瀬心美 4m15

共通男子 800m 第3位 山田拓哉 2:14.51

共通男子円盤投 第5位 西村悠希 22m87

3年男子砲丸投 第1位 西村悠希 9m32 第6位 黒田悠馬 7m15

1・2年男子砲丸投 第1位 村上竜清 9m17 第6位 岡澤暁都 6m47

